

水道凍結防止のご案内

株式会社不動産の窓口

恵庭市恵央町 19 番 14

TEL 0123-34-1755

1 1 月から 3 月は水道凍結の危険のあるシーズンです。

水道を使用しないとき、特に冷え込む日は凍結防止のための下記のような対策を行ってください。

1. 寝る間も低温で暖房を焚くなど、室温を保つ
2. 流水は凍結しにくいいため、細く水を出し続ける
3. 水抜き作業を行い、水道管の中から水を無くす

「水抜き」と排水口の凍結防止の方法についてご説明します。

用意するもの

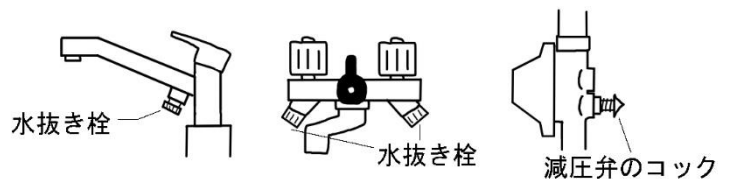
タオル ・ バケツや洗面器等水を受けるもの ・ プライヤまたはペンチ
不凍液（クーラント、車の寒冷地用ウォッシャー液など）

- ① 湯沸かし器のスイッチを切る、ガス・灯油のcockを閉じる
- ② 開けても問題がない蛇口をすべて開け、水を流す。 浴室のシャワーは下に置く。
- ③ 水の元栓を締める。
- ④ 洗濯機置き場など、②で開けなかった蛇口を開ける。

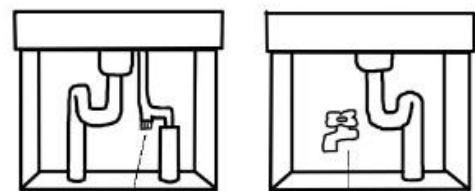
この際、中から水が出るのでバケツなどで受けるよう準備する。

- ⑤ 浴室の「シャワーとカランの切り替えレバー」は何度か切り替え、両方から水を出す。
- ⑥ 台所流しや洗面台が「混合栓」の場合はお湯と水を何度か切り替え両方から水を出す。
- ⑦ 各蛇口に「水抜き栓」「空気取り入れ口」があれば開ける。（図参照）
- ⑧ 台所流し台・洗面台の下を開け、水抜き栓やcockがあれば開ける。（図参照）
- ⑨ 「減圧弁cock」があれば押す。（図参照）
- ⑩ 湯沸かし器の水抜き栓を開く。

⑦⑧⑨⑩の各栓・cockから水が出る
ことがあるので注意する。



- ⑪ トイレタンクの水を抜き、タンクと便器に残った水に、色のはっきり確認できる程度の不凍液を入れる。
- ⑫ 各排水口に不凍液を入れる。
- ⑬ ウォシュレットは電源を落とす場合は、水抜き栓から内部の水を抜く。



- ⑭ 開栓時は逆の手順で行う。

※ 灯油ボイラーや戸建の水道配管は複雑なため、水を抜く場合専門業者へ依頼してください。